

# USHA Japan 第 20 回議事録

2021 年 2 月 27 日(土) 15:00~16:00

場所: Zoom 会議

出席者: 小野、Taranidhi Lohani、井上、富永、Prakash Acharya、Purushottam Lamichhane、橋本、金子、井村  
(敬称略)

## 報告

### 1. プロジェクトチームからの活動報告

#### 外部協賛助成

井上チームリーダーより、トヨタ財団の申請の説明があった。2021 年度助成について、是非申請を行いたい。

まずは、チームで概略を考え詳細を各担当者が考えることとする。

<https://www.toyotafound.or.jp/special/2020/migration.html>

酒井先生から助成の申請について別途に提案協議の申し出があった。ネパールでの活動の為、現在の状況を考慮するとまだ難しいのではないかと。

#### 情報・広報

本会のメディア担当 Purushottam 理事がネパールの公益団体メディア Deepshree と連携して関西テレビネパール onlineTV 番組で日本のニュースや情報配信している。その中で、先月に三木東ライオンズクラブ(MHLC)の情報が紹介された。今後、継続して MHLC 情報や USHAJAPAN の活動情報が配信予定である。

### 2. ネパール情報および草の根支援からの報告

パルカス顧問より、現在、ネパール現状についてコロナの感染拡大は収まり、死者数も減少し、日常生活が戻ってきた。日本が現在、緊急事態宣言が発令している為、試験が中断、また日本大使館閉鎖によりビザの発行も停止されている。緊急事態宣言が解除されても、入国制限が緩和されるとは限らず、まだ特定技能合格者の来日には時間がかかる。ハナミズキグループは現在、支援されたプロジェクターやパソコンを使用し授業を行っている一方で直接授業も始まった。日本から山本日本語講師(神戸)が、週に 3 回日本語の授業、日本語検定試験能力試験と基礎試験を実施している。

USHAJAPAN へのお願として、オンラインで月に数回、日本で暮らすためのトレーニング例えば、日本の生活、食べ物、観光などについて教授していただきたい。

草の根支援チームサブリーダー富永理事と Taranidhi 副会長より、本件については草の根チームが具体的な支援内容を検討する。これら支援についてドッグウッドおよびハナミズキと協議しながら準備を進め、今後両者で正式な協議を行い、協働文書を交わして推進を図りたい。

### 3. その他の報告

#### ○ ネパールからの特定技能試験合格者への支援体制の準備について(富永理事)

前述の報告通り、草の根支援チームで準備を進める。

現在、ネパールからの特定技能人材が 2 名来日しているが、介護施設での活躍の現状を本会情報: 広報のメディアが取材予定である。

#### ○ News letter 2 の刊行準備について(井村事務長)

現在、事務局が中心となり作成中で年度内に刊行したい。本来、昨年末に発行予定であったが、今年度はコロナ禍のために十分に活動ができず刊行が遅れた。刊行内容が整い次第に理事メールで回覧後、発行予定である。

#### ○ ときわ病院への表敬訪問(小野会長)

2 月 18 日に会長と事務長がときわ病院の三木東ライオンズクラブ顧問興梠氏と会い、助成の最終報告と引き続いてのネパール支援をお願いした。またドッグウッド池田代表とは、ネパールからの特定技能人材への支援体制について協議し、本会の草の根支援チームが本会担当チームとして今後ドッグウッドならびに現地ハナミズキと協調しながら準備を進めていく方針を説明した。

## 審議

#### ○ 外部協賛助成に関する情報共有について(井上リーダー)

酒井先生から外部助成について情報提供があったが、当面はトヨタ財団に主体を置き助成獲得を目指したい。国内での活動実績を作った後、ネパールでの活動へシフトしていければいいのではないかと。チームでどのようなニーズがあるか検討していきたい。

## その他(Prakash 顧問)

現在、ネパールでは日本で働きたい人が多くいるが、田舎の方ではカトマンズに出て勉強するお金がない状況にある。カトマンズで勉強するには家賃も含め一か月 2、3 万程度かかるが、自宅でインターネットを活用した勉強方法では Wi-Fi 整備や携帯データ(シムカード)への資金、一か月約 2000 円である。このお金も準備できない人がおり、是非とも支援していただきたい。

次回会議予定 3 月 27 日(土)15:00~16:00